

特集1

みんなで自転車に乗ろう

近年、自転車の良さが見直されています。安城市でも、自転車が走りやすい環境整備を進めています。今回の特集では、整備箇所や自転車の安全利用について紹介します。

快適に走るための整備

■大東住吉線に自転車歩行者道が完成

自転車と歩行者が快適に通行できるように、大東住吉線の歩道を植栽帯によって歩行者と自転車の走行空間を分離しました。さらに、自転車通行帯と歩行者通行帯で、路面の色分けとサイン標示をしています。



自転車歩行者道が完成した大東住吉線

を東西に走る道に、自転車と歩行者を分けた走行空間を整備しました。これにより、一層安全に走行することができます。

■自転車歩行者道を整備

新安城駅前から柿田公園まで南北に走る道と、東栄公園前



「安全に走れます」

兼子鉦一さん(昭和町)

天気の良い日は、2歳の孫を自転車に乗せて、中部公民館や公園へ自転車で出かけます。道が整備される前は、歩行者に気を遣いながら歩道を走ったり、交通量の少ない住宅街を通ったりしていました。大東住吉線が走りやすくなったので、ありがたいです。



孫は、自転車が大好き。公園から帰る時、なかなか帰りがたがらず、泣き出すこともあります。しかし、自転車に乗せると泣きやみます。これからも孫と一緒に自転車を楽しみたいです。

■サイクリングロードをより安全な空間に整備

明治用水の上部を利用した、延べ約25kmのサイクリングロード。今後は、段差の解消や照明灯の設置、歩行者と自転車の通行帯の明確化、危険な箇所の路面を色分けをして、安全・快適に走行するための整備を進めていきます。



■二ツ池用悪水の上部を遊歩道に整備

高棚町の二ツ池用悪水の上部を整備し、遊歩道ができました。のどかな田園風景を楽しむことができます。





## 走りやすい道、事故は大丈夫？

### 事故防止のカラー舗装

自転車の走行空間をはっきりと示すために、路面を青色に着色しています。また、危険箇所や見通しの悪い道路の手前を黄色に着色して注意を促しています。



### 点検整備を受けましょう

自転車には車検制度がありません。整備不良の自転車に乗っていると想像ぬ大事故を招いてしまいます。安全のため、点検整備を受けましょう。

### ■自転車安全整備費の補助

「まちの自転車屋さん」登録店で受けた自転車整備費に補助をします。詳しくは本紙4月1日号をご覧ください。

### ■TSMマーク付帯保険

自転車点検整備を受けると、整備済みの証として「TSMマーク」がもらえます。これには、傷害保険・賠償責任保険が付いてきます。保障は自転車に対してかかるので、所有者以外の搭乗者にも適用されます。



## ルールとマナーを守った走行を

市内で自転車の走りやすい道路が増えていますが、道路環境が良くなれば、自転車を利用する人も増えます。そこで問題となるのが、交通ルールとマナー。これらが守られないと、事故が発生してしまいます。

### ●実際にあった自転車事故(警視庁ウェブサイトより)

高校生が夜間、携帯電話を操作しながら無灯火で走行中、看護師と衝突。看護師には重大な障害が残る、職も失った。損害賠償額は5000万円に上った

自分がいくら注意していたとしても、いつ事故に遭うかわかりません。また、自分が加害者となってしまうことも十分あり得ます。

正しい自転車ルールを守り、安全に自転車を利用しましょう。

### 自転車交通ルールテスト

自転車は、自動車やバイクと同じ「車両」の仲間です。自転車の交通ルールを理解しているか、テストに挑戦してみましょう。(自転車まちづくり市民団体工

コりんりんの冊子から引用)

### ●テスト1 自転車は歩道を走ることができる？

①どんな場合でもできる  
②場合によってはできる  
③どんな場合でもできない

●解説 歩道と車道の区別がある道路では、自転車は車道の左側の端によって通行しなければなりません。ただし、普通自転車は、「歩道通行可」の標識や道路標識がある歩道を通ることができます。しかし、歩道では、歩行者の通行を優先させなければなりません。すぐに止まれるような速度で進行し、歩行者の邪魔になるときは、一時停止をなくてはなりません



自転車安全整備士

### 近田光芳さん

修理で一番多いのはパンクです。その原因のほとんどが、タイヤの空気不足。くぎが刺さるより、圧力的に多いです。タイヤに空気がしっかり入っていれば、パンクはしません。店の前に新しく、青色に塗装された自転車歩行車道ができました。走りやすくなった反面、スピードを出しすぎの人を見かけます。現に事故も目撃したので、危険に感じて

います。

自転車は、車と違って保険に入っていない人がほとんど。安全のために、日本交通管理技術協会が、TSMマーク付帯保険の普及に努めています。これは、自転車をきちんと点検整備した証。さらに、保険が付帯されますので、ぜひ加入してください。また、忘れがちなのが更新手続き。毎年更新をしてください。また、半年に1回は、行きつけの自転車屋で点検をうけてください。

### ●有効期限 点検日から1年

●保障内容 他人を死亡させた、または重度の傷害を負わせた場合に、上限1000万または2000万円の賠償責任保険など

### ●費用 点検整備費(店舗により異なります)

●申し込み 自転車安全整備店で、TSMマークのための点検整備を受ける



### ●テスト2 自転車に乗りながら携帯電話を使うことは危険だが、法律では禁止されていない？

①禁止されていない  
②禁止されている

●解説 自転車を運転する人は、(答え)▼テスト1→②、テスト2→②

周りの状況をよく見て、ほかの人に危害を与えないようにする「安全運転の義務」があります。携帯電話を使うことで、片手運転になり、周りへの注意も散漫になってしまいますので、この義務に違反することになります。また、手放し運転・傘差し運転、ヘッドホンの使用などもしてはいけません

自転車はとても便利な乗り物ですが、使い方を誤れば凶器となってしまう。交通ルールやマナーを守って、快適な自転車生活を過ごしましょう。

## 自転車マップを持って、レッツサイクリング！

市が発行している自転車マップ。市内の自転車が走りやすい道路や危険な場所などの情報を掲載しています。自転車走行に役立つこと間違いなし。交通ルールとマナーを守って出かけてみませんか。マップは、都市計画課、各地区公民館、各レンタルサイクルポートで配布していますので、ぜひ活用してください。

